

山形市民の 「我が事丸ごと」 の活動

★ 山形市福祉推進部生活福祉課 地域福祉係長 加藤慶子

★ 社会福祉法人山形市社会福祉協議会

地域福祉部門地域福祉第二係 福祉まるごと相談員 高村尚美

本日の内容

- 1 我が事・丸ごと地域づくり推進モデル事業の概要について
「山形市の概要」
- 2 多機関の協働による相談支援包括化推進モデル事業
「福祉まるごと相談員の活動」
- 3 我が事丸ごとの地域づくり推進事業
「山形市の地区社協の取組み」
- 4 山形市の地域課題と出口作り
「制度の狭間への仕組み作り」



1 我が事・丸ごと 地域づくり推進モデル 事業の概要について

「山形市の事業概要」

山形市の我が事・丸ごと地域づくり推進 モデル事業の概要について

- 少子高齢化や核家族化が進み、地域を取り巻く環境が大きく変わる中、複雑・多問題を抱える個人や世帯への支援が喫緊の課題になっている。山形市では、子ども・高齢者・障がい者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現に向け「我が事・丸ごと地域づくり推進モデル事業」を実施している。
- 国のモデル事業として実施
- 地域福祉相談支援体制構築モデル事業 平成28年9月事業開始
(愛称:福祉まるごと相談員事業)
- 地域力強化推進モデル事業 平成29年10月事業開始

(1) 本事業に取り組む理由

① 地域包括ケアシステムの推進

- 山形市発展計画

高齢者が住み慣れた地域で支えあい、健やかに生きがいを持って暮らすことができるようにするためには、地域包括ケアシステムの構築が必要。

② CSW(コミュニティソーシャルワーカー)の配置

- 第2次山形市地域福祉計画

- 第4次地域福祉活動計画(山形市社会福祉協議会)

地域の福祉課題を総合的に受け止める体制づくりの推進を図るため、CSWの配置を掲げている。

(2) 実施状況

① 地域福祉相談支援体制構築モデル事業 (愛称:福祉まるごと相談員事業)

- 事業開始:平成28年9月
- 事業形態:山形市社会福祉協議会へ業務委託
- 事業内容:本人だけでなく、その世帯全体が抱える課題を総合的に把握・整理し、多機関・多部門の相談支援機関等と横断的に連携することで包括的な支援につなげる。
- 福祉まるごと相談員(CSW)5名を配置

* 内、2名は市委託料、3名は市社協独自予算

② 地域力強化推進モデル事業

- 事業開始：平成29年10月
- 事業形態：山形市社会福祉協議会へ業務委託
各地区の事業主体は地区社会福祉協議会
- 事業内容：各地区に拠点を設け、いきいきサロンや100歳体操、などの事業を実施する中で、困りごとや相談ごとを受け付け、解決につなげる相談支援体制や、支え合いの仕組みづくりを行っている。
 - * 事業は月8回以上開催、専門職の相談日開設
 - * 地区社協、町内会役員及び民生委員などが対応
- 実施地区：平成30年度 11地区
平成31年度 11地区＋新たな実施地区

DVDをご覧ください



はながたベニちゃん

2 多機関の協働による 相談支援包括化 推進モデル事業

「福祉まるごと相談員の活動」

いつも大変お世話になっております！ 福祉まるごと相談員です！



福祉まるごと相談員 5人

山形市3ブロック
北東担当・中央担当・南西担当
3人

市内全域
2人(うち、山形市役所1人)



高村 社福士
精福士

青山 保健師

江部係長 社福士
保育士

斎藤 社福士
精福士

阿部 社福士

山形市の概要

- 人口246,201人(65歳以上人口 70,792人 28.8%)
- 世帯数101,708世帯
- 民生委員児童委員数492人(主任児童委員60人含む)
- 学校 小学校37校、中学校16校、高等学校14校
- 相談支援関連機関等

基幹型地域包括支援センター	1か所	〈市社協受託〉
地域包括支援センター	13か所	〈市社協2〉
障がい者相談支援センター	6か所	〈市社協1〉
成年後見センター	1か所	〈市社協〉
生活困窮者自立相談支援	1か所	〈市社協〉

- 地区 30地区(全地区に地区社協あり)
- 町内会数 549町内

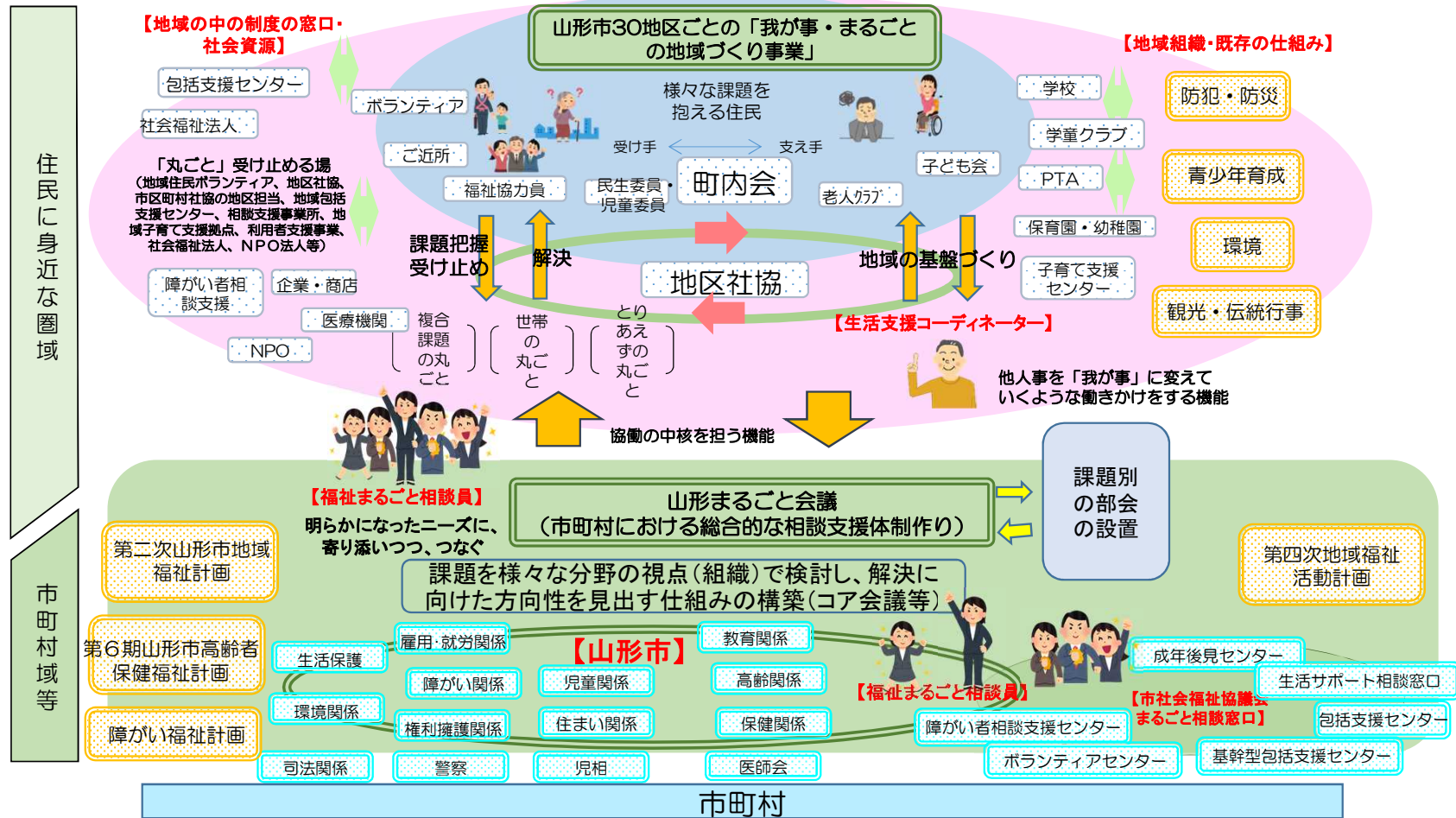
山形市社協の概要

(組織)法人運営部門、地域福祉部門、在宅サービス部門、保育部門

職員数	H30.4.1現在
職員総数	278名
正規職員数	89名
嘱託職員数	68名
契約職員数	43名
パート職員数	63名
登録・代替職員数	15名

都道府県名	山形県	市区町村名	山形市
地域力強化事業実施団体名	山形市社会福祉協議会	多機関協働事業実施団体名	山形市社会福祉協議会

地域における住民主体の課題解決力強化・包括的な相談支援体制のイメージ



3 我が事丸ごとの 地域づくり推進事業

「山形市の地区社協の取組み」

活発な地域福祉活動と「丸ごと」相談を組み合わせた総合的な支援体制（山形県山形市）

自治体概要※

人口 252,120

面積 381.58km²

小学校数* 36

中学校数* 15

※2017年9月1日現在

*市立のみ

- 市内30地区を事業実施単位として、住民に身近な地域での居場所・活動拠点を設置し、住民からの困りごと等に対応する相談体制の整備を目指す。
- 社会福祉協議会の福祉まるごと相談員（相談支援包括化推進員）や第2層生活支援コーディネーターが連携・協働し、地域での取組をサポート。
- あわせて、生活困窮、高齢、障がい分野などの複数事業を受託する社協内の総合相談体制を整備し、市・社協・関係機関が連携した総合的な支援体制を推進。

住民に身近な地域での取組

◎地区社会福祉協議会

- 市内30地区に存在。独立会計のもと、各々が主体的に活発な地域福祉活動（ふれあいきいきサロン、地域交流活動等）を展開。

◎福祉協力員活動（平成8年全地区配置）

- 市社会福祉協議会が委嘱。高齢者の見守り、声かけ、訪問を実施するほか、地域福祉活動に協力。

◎三者懇談会（町内会役員・民生委員児童委員・福祉協力員）、地区地域福祉推進会議

- 三者懇談会では、福祉マップ（要支援者等の把握等）を作成。更新
- 地区地域福祉推進会議では、生活課題を共有し、その解決に向けて地域福祉活動に取り組むために協議する。

◎「ちょっとした支援」の展開

- 中・高校生等が、高齢世帯等の雪かきやゴミだしを支援
- 社会福祉法人の地域貢献活動と連動し、高齢者の買い物支援を実施（送迎車の空き時間を活用）



高校生による除雪活動

◎住民に身近な地域での居場所・活動拠点の設置（2017年度：3か所）

- 誰もが気軽に立ち寄れる居場所とするとともに、週2日程度、住民ボランティア（地区社協役員や町内会役員等）による何でも相談を実施。



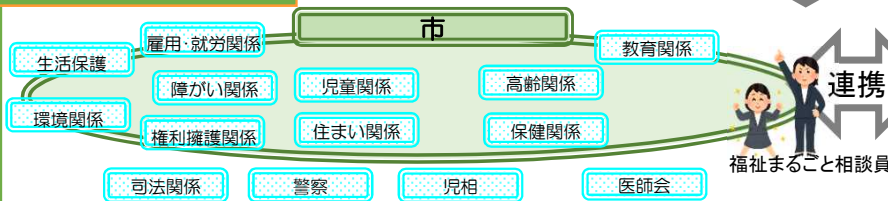
第十地区やよい集会所

連携・サポート



福祉まるごと相談員、生活支援コーディネーターがサポート

市レベルでの取組



◎福祉まるごと相談員（CSW（コミュニティソーシャルワーカー））

- 複合的な課題、「制度の狭間」に対応するため、社協に5名（うち1名は市役所内）に配置。同じく社協に配置された生活支援コーディネーターと連携。

◎福祉まるごと相談窓口（市社会福祉協議会に設置）

- 社協が受託している地域包括支援センター、障がい者相談支援センター、成年後見センター、生活困窮者自立相談支援の窓口を集約し、総合相談体制を推進

作成：厚生労働省

「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業

住まいの地域の中にある専門機関や・・・

・・・公的機関や企業なども丸ごと一緒に地域づくり！！



4 山形市の地域課題 と出口作り

「制度の狭間への仕組み作り」

福祉まるごと相談員の仕事は・・・

多機関の協働による包括的
相談支援体制構築！

山形市の地域共生社会の
仕組みづくり



80の集い かたつむりの会



平成28年～福祉まるごと相談
員の活動の中で
「8050問題」の多さに気づく

平成29年～既存の制度には、
その問題に対応できないことに
気づく

何が出来るか考えて、試しに
やってみた！

平成30年以降～保健所や既存
の仕組みとの協働を検討中



平成28年～29年 これまで埋もれていたゴミ屋敷問題に着手(というか、相談できると分かり次々と相談が来た)

関係機関や地域の皆さんと片付けしてみた！ライオンズクラブの社長さんがトラックを出してくれた！！

平成29年～30年 行政の中での協働が必要と考え、庁内連携会議「福祉まるごと会議」を発足。その後の仕組みづくりに向けて、継続協議中。



ゴミ屋敷の片付け
(人員と運搬の
協力チーム)



平成28年～困窮世帯に、動物の多頭飼育をしているケースが多いことについて気がついた！

保健所と相談し、このようなチラシを制作するなど、できることを実施。

保健所との連携の他、動物に関係する機関や専門家と連携できないか、検討。まずは研修会開催へ！

(案)トリマーの学校の生徒さん、動物好きのボランティアさんの登録制度、捕獲チームの体制づくり、餌などの寄付依頼など



ネコの里親さんを募集しています!!



10匹の猫を保護しました。
家族の一員として、終生大切に育てて下さる方を希望します。
里親を希望される方は、下記の連絡先にご相談ください。
どうぞよろしくお願いいたします。



動物の保護
人と動物の
共生支援

【連絡先】 山形市社会福祉協議会
生活サポート相談窓口（月～金、8:30～17:00）
住所：山形市城下町2-2-2

「8050問題」の引きこもりは小中学校時代から始まっていると実感！！
小中学校への「まるごと相談員」の広報活動実施。すると、学校の先生が抱える
「親の療育問題」が見えてきた。小中学校からの相談急増！！
そこで、山形にはまだまだ足りない「子ども食堂」
の設立のバックアップ、地域の中の子どものネットワーク
づくりを試しにやってみた。
もっと広げるため活動中！

子ども食堂・地域食堂



小学校ごとの
子どもネットワーク会議

チャレンジ就労 (中間的就労の取組)



平成28年～福祉まるごと
相談員の活動の中で
「8050問題」の多さに気づく

50の人が仕事に就けない
現状には、またしても既存
の制度では、その問題に
対応できないことに気づく



社会福祉法改正・公益的
活動の取組と連動し、福祉
施設で就労体験の場を設
置！！

福祉まるごと会議 (片内連携)

- 平成28年から様々な課題に取り組む中で、「制度」があることから「狭間」があることを実感！
- まずは行政が狭間を無くす連携を行い、行政が仕組み作りできるようになるため、協議の場を提案！！（包括化推進会議のイメージ）
- 「社協」として、制度の狭間を埋めることができる取組をすべき、と協議の場を提案！！
- 社協まるごと会議を通して、携帯電話契約の問題対応、緊急時の入院セット（衣類など）、社協モノバンクなど作ってみた！！！！

社協まるごと会議
(社協独自の仕組み作り)

地域 みんなで「我が事」「丸ごと」で！！

住民主体の活動と
多機関の協働は、
「我が事丸ごとの地域づくり」
なんです！！





ささえあいがある
ふだんの



くらしの

しあわせのある

やまがた市へ...



ご清聴ありがとうございました!!!

